

福島第一原子力発電所の状況

2016年1月26日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (1/26 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	給水系：約2.6 m ³ /h	15.2	0.87 kPa g	A系： 0.04 vol%
		炉心スプレイ系：約1.9 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	給水系：約1.9 m ³ /h	20.1	3.26 kPa g	A系： 0.02 vol%
		炉心スプレイ系：約2.4 m ³ /h			B系： 0.02 vol%
3号機	淡水 注入中	給水系：約2.0 m ³ /h	18.4	0.23 kPa g	A系： 0.05 vol%
		炉心スプレイ系：約2.3 m ³ /h			B系： 0.06 vol%

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (1/26 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	10.2
2号機	循環冷却システム	運転中	27.9
3号機	循環冷却システム	運転中	17.6
4号機	循環冷却システム	運転中	6.4

各号機 SFP および原子炉ウェルヘヒドラジンの注入を適宜実施。

[2号機]

使用済燃料プール代替冷却系は、当該系統の電源切替盤点検を行うため、1/26 5:57 に冷却を停止。その後、当該作業が終了したことから、同日 15:38 に SFP 代替冷却系を起動。起動状態については、異常のないことを確認。起動後の SFP 水温度は 28.2 (停止時 27.7) で、運転上の制限値(65)に対して余裕があり、SFP 水温度の管理上問題なし。

[公表区分: E]

< 3. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (1/26 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種 除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多 核種 除去設備
運転 状況	運転中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}	ホット 試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 4. その他 >

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00～ プライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽の解体作業を開始。
- ・2016/1/21～ H4エリアにおいてフランジ型タンクの解体を開始。
- ・2016/1/26～ 3号機原子炉建屋1階にて、高所用除染装置(ドライアイスプラスト除染装置)による高所部の吸引除染を開始。
- ・3号機においては、2015/12に原子炉格納容器(以下、「PCV」という。)内に新設温度計を設置し、設置状態や電気的特性および約1ヶ月間の温度トレンドの確認による信頼性評価を実施。信頼性評価の結果、PCV内の冷却状態の監視に使用できるものと判断し、下記2箇所の温度計について、特定原子力施設に係る実施計画「特定原子力施設の保安」第1編第18条(原子炉の冷却状態の監視)(以下、「実施計画 第1編第18条」という。)に定める監視温度計として選定し、1/27 0:00より監視を行う。

< 選定温度計 >

- ・3号機 PCV温度 TE-16-002
- ・3号機 PCV温度 TE-16-004

また、今回の3号機PCV温度計の設置により、1～3号機のPCV内に新設温度計が設置されたことから、これを機に、実施計画 第1編第18条に定める監視温度計の選定状況の整理を行い、信頼性が高い下記4本の監視温度計についても、実施計画 第1編第18条の監視温度計として選定。こちらについても1/27 0:00より監視を行う。

< 選定温度計 >

- ・3号機 RPV下部ヘッド温度 TE-2-3-69L2
- ・3号機 RPV下部ヘッド温度 TE-2-3-69L3
- ・2号機 SUPPLY AIR D/W COOLER HVH 2-16C TE-16-114H#2
- ・2号機 SUPPLY AIR D/W COOLER HVH 2-16E TE-16-114K#2

[1号機原子炉建屋カバー解体作業]

1号機原子炉建屋カバー（以下、建屋カバー）解体作業を開始。

- ・2015/5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストの値に有意な変動なし。
7/17 7:06～7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
7/28 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。10/5 に全ての屋根パネルの取り外しが完了。
- ・2016/1/8～ 支障鉄骨の解体作業を開始。

[サブドレン他水処理施設の状況]

・2015/9/3 サブドレン他水処理施設運用開始。

9/17～サブドレン他水処理施設による地下水のくみ上げについて、昼間のみの間欠運転から24時間連続運転に切り替え実施。

- ・一時貯水タンクEの当社および第三者機関による分析結果[採取日2016/1/17]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/25 10:19～16:36 排水を実施。排水量は904m³。
- ・一時貯水タンクFの当社および第三者機関による分析結果[採取日2016/1/19]は、同等の値であり、共に運用目標値を満足していることを確認したことから、1/27に海洋へ排水予定。

[地下水バイパスの状況]

・地下水バイパス揚水井No.1～12のサンプリングを継続実施中。

- ・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日1月16日]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。

[1～3号機放水路の状況]

1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

< 最新のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

< K排水路排水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[H4、H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

< H4・H6エリア周辺、福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

< 地下水観測孔・海水サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

< 地下貯水槽サンプリング実績 >

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上